

価値に基づく医療（バリューベースヘルスケア）に対する タケダの見解

概要

タケダは「価値に基づく医療（バリューベースヘルスケア）」の考え方に基づき、価値の高い医療に、より多くの資源を配分する医療制度こそ、患者さんや社会により多くの便益をもたらすものと確信しています。「価値（バリュー）」とは、すべてのステークホルダー、とりわけ患者さんにとっての治療の「結果（アウトカム）」として評価されるものです。

バリューベースモデルの医療制度を構築するためには、治療アウトカムが患者さんの健康状態の変化を適切に反映した形で測定され、価値として評価されることが必要です。そのためには、情報技術を駆使して患者さんの健康に関するデータを収集する必要があります。また、ステークホルダーが患者さんや社会にとっての価値の実現を目指すような経済的なインセンティブを設計することも重要です。

タケダは、バリューベースモデルの医療制度への実現に向けて、「協力とパートナーシップ」、「アウトカム評価基準の設定」、「適切かつ客観的なアウトカムデータの収集」、「長期的な考え方」からなる主要原則を定めています。

背景

多くの医療制度では、1回の薬の投与や1回の医療処置のように、患者さんに提供された回数などの単位に応じて医療費が算出されます。これは医療制度における製品やサービスの提供者に報酬を支払うシンプルな方法です。しかし、この報酬は治療を通じて患者さんが得る便益を反映しているとは限りません。医療制度におけるインセンティブの多くは、患者さんの健康状態が改善したかどうかではなく、製品やサービスが利用されたかどうか紐付けられているのが現状です。

既存の医療制度における課題は、患者さんに大きな便益をもたらす価値の高い医療に、いかに多くの資源を割り当てられるかということです。バリューベースヘルスケアは、医療の価値を最大化するための医療制度上のモデルとして世界的に検討されています。

タケダの見解

タケダは、研究開発型の企業として、患者さんに革新的な医薬品を届けることを使命としています。タケダのバリューベースヘルスケアに対する見解も、当社のバリューである患者さん中心（Patient）、社会との信頼関係構築（Trust）、レピュテーションの向上（Reputation）、事業の発展（Business）の前提に成り立っています。バリューベースヘルスケアの考えのもと、患者さんを中心とし、医療従事者、医療制度、および社会全体にとってより良い健康アウトカムの実現を目指します。また、患者さんや社会により良い健康アウトカムをもたらすような革新的な医薬品の創出に邁進してまいります。タケダが実施しているバリューベースヘルスケアの一例として、患者さんの症状の改善といった期待されるアウトカムを達成したときのみ、医薬品の支払いを発生させる取り組みが挙げられます。

「価値」の定義は、それぞれのステークホルダーがどのようなアウトカムを目指しているのか、どのような予防法・治療法が選択できるのかに大きく依存します。アンメットメディカルニーズを満たす革新的な治療法のみならず、基礎的な医療サービスや高品質のジェネリック医薬品も医療制度上欠くことのできない価値あるものです。バリューベースヘルスケアを実現するにあたり、どの医療制度にも当てはめられるような一律な方法は存在しません。むしろ、患者さんのニーズに合わせて設計するものであり、どの方法が最適かを検証していく必要があります。

処方薬を例にとると、価値を最大化するためには、患者さんが薬を服用した後の変化を治療アウトカムとして測定することが求められます。そのためには、期待した治療アウトカムが達成されたかどうかを確認するための包括的な健康データへのアクセスが必要となります。情報技術を駆使して健康データの収集および分析が実施できるようになれば、患者さんが治療アウトカムを分析・共有できるような仕組みが必要です。

既存の価格設定と保険償還の枠組みについては必要に応じて見直し、すべてのステークホルダーが期待すべき治療アウトカムの達成を目指すような経済的なインセンティブを設計することが重要です。革新的な医薬品の価格は、アウトカムによって評価される価値に基づいて決定されるべきです。アンメットメディカルニーズが高い希少疾患においても持続的な研究開発投資を促す必要があります。一方で、革新的な医薬品、ワクチン、その他の治療法を保険者や社会が受け入れられる価格で提供することにも配慮する必要があると考えています。

タケダは、バリューベースモデルの医療制度の実現に向けて、以下の主要原則を定めています。

協力とパートナーシップ

バリューベースモデルの医療制度を実現するためには全ての医療関係者間の連携を強化することが不可欠です。タケダは、バリューベースヘルスケアに基づいた医療制度を設計するための議論に積極的に参画し、患者さん、学界、政府、保険者、医療提供者、その他のステークホルダーと協力して、バリューベースモデルの医療制度の構築に貢献してまいります。

アウトカム評価基準の設定

タケダは、バリューベースモデルの医療制度を実現するためのエビデンス構築に向けた最初のステップとして、複数のステー

クホルダーと協力し、アウトカムの評価基準を確立することを支援します。希少疾患では、対象患者が少ないために治療アウトカムの基準を設定することが多くの場合難しいため、評価に柔軟性を持たせる必要があります。

適切かつ客観的なアウトカムデータの収集

タケダは、様々なステークホルダーへの支援を通じて、健康データシステムの相互運用性を改善することを目指します。また、独立機関において患者さんから報告されたアウトカムを収集するなど、適切かつ客観的なアウトカムデータの収集方法を追求してまいります。

長期的な考え方

バリューベースモデルの医療制度を継続的に最適化するため、アウトカムデータの測定および評価方法において、長期的な視点に立った取り組みを推進してまいります。

結び

バリューベースモデルの医療制度の実現には様々な検討が必要です。患者さんのニーズに柔軟にアプローチするとともに、質の高い情報を収集し、イノベーションの評価も含めた適切なインセンティブを設計することが必要です。タケダは、バリューベースヘルスケアが医療制度におけるより良い資源配分と、患者さんや社会にとっての健康アウトカム向上につながるものと確信しています。

2019年10月